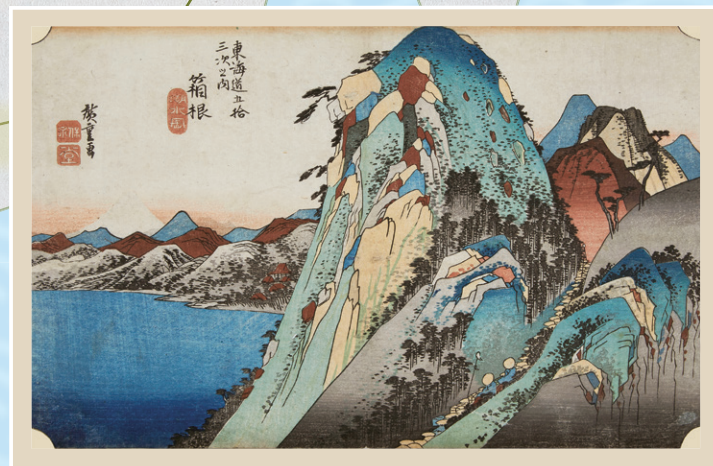


# # 東海道五十三次 with 交通系YouTuber・スーツ



Traveling the Fifty-three Stages of the Tokaido with YouTuber Suit



2023年5月26日 | 金 | - 7月10日 | 月 | MOA美術館

開館時間：午前9時30分 - 午後4時30分（入館は午後4時迄）休館日：木曜日（6月15日は開館）

観覧料：一般 1,600（1,300）円 / 高大生 1,000（700）円・要学生証 / 中学生以下無料 / 65才以上 1,400円・要身分証明

※（ ）内は10名以上の団体料金

※ 障がい者手帳をお持ちの方と付き添い者（1名のみ）半額

※ 前売り券は、ホームページのオンラインチケット、お近くのコンビニエンスストア（セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート）でもお求めいただけます。

MOA美術館

熱海市桃山町26-2

TEL: 0557-84-2511 <https://www.moaart.or.jp>



三島 朝霧 (保永堂版東海道五十三次)



蒲原 夜之雪 (保永堂版東海道五十三次)



四日市 三重川 (保永堂版東海道五十三次)



庄野 白雨 (保永堂版東海道五十三次)

## #東海道五十三次 with 交通系YouTuber・スーツ

2021年に当館で開催した「#琳派」の第2弾として、歌川広重の「東海道五十三次」を取り上げます。

江戸時代、大都市に成長した江戸では、活発な経済活動を背景に町人の文化が開花し、庶民の関心事を主題とする浮世絵がめざましく発展しました。庶民間における東海道旅行や名所旧跡の物見遊山が流行すると、風景画への関心が高まり、天保4年(1833)には、歌川広重「保永堂版 東海道五十三次」が版元竹内孫八から刊行されました。本シリーズでは、旅の情景や自然と融合した庶民の暮らしが生き生きと描かれています。

この度の展覧会では、「保永堂版 東海道五十三次」の全55作品の展観に合わせ、YouTubeのチャンネル内で自転車で実際に東海道を旅した交通系YouTuber・スーツの旅を紹介します。SNSを通して江戸時代と今の東海道の旅をお楽しみください。



スーツ

1997年生まれ。JRを使い日本全国を一筆書きのルートで往復した日本初の「最長往復切符の旅」の動画で本格的に活動を開始。以降、様々な交通機関に乗って旅をする動画をYouTubeに投稿。鉄道に限定されない幅広い知識と流暢な語り口で人気の交通YouTuberです。2020年10月、電動アシスト自転車による旧東海道の旅をスタートし、大人気企画となりました。



交通

◎JR線をご利用の場合：JR熱海駅下車→バスターミナル8番乗り場よりMOA美術館行きバスをご利用ください。(所用時間7分)

◎お車でお越しの場合：東京方面からは、西湘バイパス、又は小田原厚木道路より真鶴道路を通り、お越しください。静岡方面からは東名沼津インター、又は新東名長泉沼津インターより伊豆縦貫自動車道→熱函道路を通り、お越しください。

MOA美術館

MOA MUSEUM OF ART

〒413-8511 静岡県熱海市桃山町 26-2

tel: 0557-84-2511

<https://www.moaart.or.jp>

